

し、指のつけ根をつきさそうとしました
が、それでもできませんでした。

今では、「てんぼう」とは言われなく
なりましたが、村人のぼくを見る眼は、
かたわ者を見る冷たいあわれみの眼です。
この左手をどんなにかくしても、手首の
かたまりは、なおりません。この左手が
あるかぎり、貧乏とかたわの名は消えま
せん。大人になっても百姓はできず、ま
た、ほかの仕事もできず、これから先、
どうしたらよいか、考えると世の中がまっ
暗になってしまいます。

